

カミカ茶寮+読林 [tokurin]

多種多様な人々の集う場

六甲山の麓、一王山を知っていますか。神戸市灘区の市街地からほど近くにある森。その中に建つ十善寺の境内に「カミカ茶寮+読林[tokurin]」がある。「読林」は茶寮の2階にある本の読めるスペースだ。

訪れる人々は年代も理由もいろいろ。早朝に来て体操をする一王山登山会や寺の参拝者、夕方には子どもたちの遊び場になる。また、一王山もりあげ隊やてふてふの森くらぶがあり、リラックスストレッチやおはなし会、お山の小さな夏まつりなどの活動拠点にもなっている。



朝ごはんのおむすびは汁物が付いておいしい

参道脇の古い石垣には大小さまざまな石が重なり合い、人も自然も多種多様であることが一王山の魅力なのだと感じられる。

午前6時半～午後5時。木曜と月曜午後は休み。おむすび、またはトーストの朝ごはん(600円)があり、ランチは要予約。☎090・3636・7099

Mt.Rokkoロゲイニング2023

地図片手にポイント巡り

地図をもとにチェックポイントを回る野外スポーツイベント「Mt.Rokkoロゲイニング2023」が10月9日、六甲山ビジターセンターをスタート・ゴール地点として開かれる。

チェックポイントは六甲・摩耶エリアを中心に設置され、2～5人のチームで写真を撮りながら回



チェックポイントで写真を撮りながら秋の山を巡る

って、集めた得点を競う。部門ごとに上位チームを表彰するほか、参加賞も用意している。

当日配布される地図には、有名な景勝地はもちろん、地元住民も知らない秘境スポットなど、インスタ映えする場所が盛りだくさん。高得点のポイントを巡るもよし、景色のきれいなポイントを巡るもよし。ルートは仲間と相談しよう。

雨天決行、荒天中止。対象は18歳以上で定員100組300人。参加費1人3500円。申し込みは大会公式サイト(https://www.actrepsports.com/rogaing/mt-rokko-rogaing/)から。9月25日締め切り。



六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第3日曜日に掲載します)

根岸真理が案内 山の四季便り

⑤五月女がある「食事の風景」



「六甲ミーツ・アート芸術散歩2023」が開催されている。今年で14回目となる六甲山の秋の風物詩。期間中は遠方から訪れるアートファンも多く、若い世代が目立つ印象がある。

山上各所に作品が展示されるが、今年も新たに「トレイルエリア」が加わった。六甲ケーブル山上駅からゴルフ場や別荘地を通って森の音ミュージアムへ。距離にすると約2.5キロ、普通に歩けば40分ほどのコースだ。ほかにも、記念碑台⑤(丸数字は作品番号)、六甲サイレンスリゾート⑦、ガーデンテラス⑧、六甲有馬ロープウェイ駅⑨、風の教会エリアもある。歩いて、バスを使っても、すべてを鑑賞するには、数日かかると思う。

先日、トレイルエリアを歩いてみた。ケーブル山上駅から東へ。大きな木々に



②土屋さやか「ひらがなサーカス」



⑦三松拓真「Drive me wild!」



⑧nl/rokko project「成長って何」



⑩横手太紀「星のいるところ」



⑫中崎透「Sunny Day Light/ハルとテル」

足取り軽くオブジェ巡り

「ROKONOMAD」では、庭にnl/rokko projectの作品が展示されている。ゴルフ場の中の坂道を登っていくと、右手にウォールズ建築のひととつであるクラフハウス。丁字路を左へ。樹林の中に、唐突に巨大なモニターがあり、その前で何がうごめいて…。ぜひ現地を確認を。

「トレイルエリア」新設
トレイルエリアは、筆者にとっては、いつもの歩き慣れた道。それなのに、ただの空き地が、たまたまやないことになっていたりして、見知らぬ土地を旅しているみたいな感覚で楽しめた。山上の住民や、別荘所有者の協力で生まれた作品があるのも意義深いことだと思つた。

期は11月23日まで。今月23日からは「ひかりの森」夜の芸術散歩も始まる。秋の六甲山で、心地よいハイキングとアート鑑賞を楽しもう。

神戸布引ハーブ園

紅葉めでる優雅な時間を

神戸の街並みが一望できるリゾート施設「神戸布引ハーブ園/ロープウェイ」では「GARDEN FEST 2023-Autumn」を開催している。12月3日まで。

ドイツの古城をモチーフにした園内でドイツビールやワイン、ハーブソーセージなどを味わう「ドイツ祭り」のほか、手ぶらで楽しむ「ガーデンピクニック」(11月26日まで/1日10組限定で要予約)も実施。

11月11日～12月25日の「古城のクリスマス2023」では、約6歳のクリスマスタワーや直径約3歳のリースが飾られ、クリスマス一色に。同期間の「神戸クリスマスマ



コスモスが揺れる秋の神戸布引ハーブ園

スケッチには、本場ドイツのクリスマスオーナメントやくるみ人形などが登場。さらには約1千灯の電球で高さ25歳のメタセコイヤを彩った「森のクリスマスツリー」が夜空にそびえる。

コスモスや紅葉をめでながら、優雅なランチタイムや散策、ハンモックでの休息はいかが。☎078・271・1160

◆六甲山サイレンスリゾートで楽しむランチ&ヴォーカルコンサート

10月29日ランチ12時、コンサート14時。六甲山サイレンスリゾート旧館2階カフェテリア、ギャラリーA(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「記念碑台」で下車徒歩5分)。シェフ特製ランチと森本靖子さん(ソプラノ)＝写真、村崎愛さん(ピアノ)によるコンサート。曲目はモーツァルト「人気がない森で」ほか。定員35人。1万2000円(ランチとコンサート、お土産付き)。



ランチとコンサート、お土産付き) 10月27日までに電話またはホームページから申し込む。六甲山サイレンスリゾート☎078・891・0650

◆秋祭 10月9日

10月9日17時、神戸市立森林植物園(神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス)。オミナエシ＝写真＝などが咲く秋の小道や萩の小道を自由に散策、ほかに自然素材を使った工作、六甲山のキノコ展などの催しがある。無料(別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円)。同園☎078・591・0253



◆秋の里地里山を歩く 10月14日10時、神戸電鉄「押谷谷」駅集合。押谷谷駅一水田地帯一南の尾根一水田地帯一押谷谷駅までのコ



コース。西には立派な山容の雄岡山が南に裾を広げ、明石川を渡る西盛橋までは秋の気配の里山風景＝写真＝を眺めながら歩く。講師は六甲山自然案内人の会のメンバー。弁当、飲み物、雨具など持参。参加費300円。予約不要。小雨決行。六甲山自然案内人の会☎080・1439・7030(19～21時)

◆10月のミントサロン「一王山から未来を楽しく生きる」10月19日19～20時、ミント神戸18階のミントテラス(JR「三ノ宮」駅)。これか

らの一王山のあり方や展望について、カミカ茶寮+読林の豊永祐子さん＝写真＝が話す。無料。先着30人。要予約。住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記し、メール(mintsalon@kobe-np.co.jp)またはファクス(078・360・5514)で申し込む。六甲山大学事務局ミントサロン係☎078・362・2983

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

王子の森・自然学校で子供たちが活発に交流



↑間伐材を活用したキーホルダー ↑自宅で紙づくり体験ができる紙すきセット

王子グループは、国内外に東京都の面積約2.7個分にあたる60.3万ヘクタールにわたる森林を有しています。王子の森を活用する取り組みの1つとして、小学校4年生から6年生までを対象とした自然体験型環境教育プログラム「王子の森自然学校」を2004年から開催しています。

18回目となる今年7月26日(水)28日(金)に、3年連続でオンライン形式により実施。森と紙にまつわる2つのプログラムを用意し、3日間で全国から220名の子どもたちが参加しました。

王子の森・自然学校は、未来を担う子どもたちに環境保全に対する姿勢や思いをつなぐ、貴重な機会となっています。

「講義の時間と手を動かす体験の時間があつて楽しく学ぶことができたなどの声が寄せられました。王子の森・自然学校は、未来を担う子どもたちに環境保全に対する姿勢や思いをつなぐ、貴重な機会となっています。」



今回の参加者との交流の時間を増やしたことで、講義中も子どもたちの意見が活発に飛び交うプログラムとなりました。また、プログラム終了後の保護者向けアンケートでは「紙づくりにだけでなく、環境教育や自然保護などの社会貢献活動を知り、イメージが変わりました。」という声もあつて、活動の時間と手を動かす体験の時間があつて楽しく学ぶことができたなどの声が寄せられました。

わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

